

## 第4回 校長会議あいさつ

R2.6.23 稲垣

梅雨入り宣言とともに、諦めていたルコウソウが一斉に芽を出しました。土中の種子たちは、一か月近くもこの時を待っていたのです。私たちには鬱陶しい梅雨も、草花にとっては恵みの季節到来なのだと改めて知らされました。学校が再開して、一か月が過ぎようとしています。児童生徒たちの笑顔とともに規則正しい生活リズムも戻ってきた頃だと思います。

本日は二点についてお話します。

一点目は、夏季休業短縮による授業日の設定についてです。例年であれば夏休みの期間に、今年は授業日を18日設けました。衛生面にしっかりと配慮しながら給食も実施します。教室にエアコンはあるものの、半日授業では炎天下の下校が心配です。子どもたちの安全を担保するために、また、授業時間を確保して、少しでもゆとりのある教育活動を進めていくための措置です。

今回、栄養教諭や調理員さんたちの嬉しい協力を得て、「すいすいスイーツデー」やそれに続く「リッチマンデー」などの取り組みも実施します。子どもたちが勉強や運動に頑張るための、学校の楽しい雰囲気づくりにつながることを期待しています。

二点目は、今後の計画についてです。現在、各学校では、修正した年間計画のもと教育活動が推進されていることと思います。授業は、遅れ分を取り戻すべく急ピッチで進みがちかと思いますが、詰め込みだけにならないように配慮をお願いします。行事や特別活動等、児童生徒の生活に勢いをもたせる内容を織り込みながら計画してください。

部活動の大会や発表の場について、中学三年生にとっては、二年以上も苦楽を共にしてきた仲間たちとの最後の思い出となります。生徒たちの心情を慮り、感染防止に十分に配慮しながら、開催する予定です。開催に向けての確認事項等については、中小体連等との調整も経た上で、近々に指示いたします。全教職員に周知するとともに、保護者や地域の方たち、競技団体関係各位にもご理解とご協力がいただけるよう、学校からも働きかけをお願いいたします。

現時点では、地域の感染拡大は落ち着きを見せつつありますが、今後、感染の第二波襲来も危惧されます。これからも地域の感染状況を注視しながら、子どもたちと教育を守るためのシミュレーションを重ね、先手の対策を講じていきたいと思っています。